

「情報公開文書」

研修課題名：胃 X 線検査受診後の便秘に関する相談内容の分析及び今後の対応についての
検討

研究責任者：宮城県対がん協会 看護課 面川奈津子

1. 研究の対象

2019 年度～2021 年度に宮城県対がん協会において胃 X 線検査を受けた者のうち、当協会に便秘に関する相談を行った方とします。

2. 研究目的・方法

当協会では年間約 12 万件の胃 X 線検査を実施しており、検査後スムーズにバリウムが排泄されるよう、下剤投与量の調整や検査後の飲水勧奨、また希望の自治体へ食物繊維入飲料水の配布の対応を行っていますが、検査後の便秘に関する相談件数はまだ多い状況にあります。今回の研究では、これらの対応が電話による便秘に対する電話等相談記録の内容にどのように影響したかを解析し、より良いバリウム排出の対応策を検討することを目的とします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2019 年度～2021 年度に胃 X 線検査後に電話で便秘相談を行った方の性、年齢、便秘相談内容等を使用します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。また、本研究へのご協力をご希望されない場合はお知らせください。研究不参加を申し出られた場合でも、何ら不利益を受けることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

公益財団法人宮城県対がん協会がん検診センター
宮城県仙台市青葉区上杉 5 丁目 7 番 30 号
電話番号 022-263-1525(代表)
研究責任者 面川奈津子